

街路樹

次年度の研究を深めるために



支援室より 次年度に向けて

本年度も多くの先生方に研修に参加していただき、ありがとうございました。次年度、更に次の点を重点化・焦点化し、各研修を進めて参ります。

- 1 福島県の教職員指標に基づき、各ステージに見合った研修が受講できるよう研修体系の見直しを図りました。特に、今後増加が予想される新規採用教員や新任常勤講師の育成、ミドルリーダー層の資質能力の向上に重点を置き、研修の質の向上を図ります。
- 2 3つの資質・能力の育成に向けた、「主体的・対話的で深い学び」の授業改善に向けての講座やプログラミング教育、小学校外国語活動、道徳科などの課題に対応する研修を開設し、教育現場における教育課題解決に向けた研修の充実を図ります。
- 3 共有フォルダ「Kドライブ」により、総合教育センターのデータの活用や調査研究委員会の研究成果「教師力upの素」の動画の閲覧等をしやすくしていきます。
- 4 中堅教員の指導力向上のため、経験者研修Ⅱ、ミドルリーダー研修、経験者研修Ⅲで「研究推進研修」を校内研修でのアウトプットにつなげ、校内研修の活性化を図れるよう、講座運営を工夫します。また、要請訪問や出前講座等、学校のニーズに応じたOJTの支援を工夫・改善していきます。「ともに学ぶ」いわきの先生方、ぜひセンターをご活用ください。



教育支援室は、いじめ・不登校などの困難な状況を抱える子どもたちへの支援や、一人一人の教育的ニーズを踏まえた支援をより充実させることを目的に、平成29年度から設置されました。「教育相談に関すること」「不登校・引きこもりに関すること」「特別支援教育に関すること」を主な業務として、指導主事3名を中心に、教育相談員、SC、SSW、適応指導教室指導員がチームとなって取り組んでまいりました。

2年目となる今年度は、「教育支援室活用の手引き」を作成し、各小・中学校をはじめ、関係機関等に配布させていただくことからスタートしました。「教育支援室活用の手引き」をご覧いただいた皆さんから、「教育支援室についてよく分かった」「活用しやすくなった」などのご意見をいただき、教育支援室の業務等について広く認知していただけたと感じております。

3年目となる次年度は、次の3点を重点に、教育支援室が一丸となって取り組んでいきたいと思っております。

- 1 心理検査を実施した児童生徒に対して継続的な相談を促すなど、検査後の支援の充実を図る。
- 2 不登校になる可能性がある児童生徒の事前把握や不登校傾向が出てきた児童生徒に対する相談やカウンセリングの実施など、不登校の未然防止・早期対応の強化を図る。
- 3 研修等を通じた特別支援教育コーディネーターの資質向上に努め、学校の組織力を生かした支援のさらなる充実を図る。



平成30年度教育実践研究発表大会より

～先生方の感想から～

・知識を与えるのではなく、子どもたちが知識をつないで活用し、発揮することができるようにすることが深い学びになることがわかった。

・CEC・カフェでの話し合いと田村先生との講演とが関連していて、統合されたのを感じた。

・これからの社会を生きる子どもたちに対して、授業でどのような力をつけていかなければならないのか、ポイントとなることについて学ぶことができた。

平成31年1月12日(土)、いわき市教育実践研究発表大会が開催されました。当日の様子、感想をご紹介します。次年度は、1月7日(火)に開催いたします。多くのご参加をお待ちしております。

教育実践研究発表



教育長あいさつ

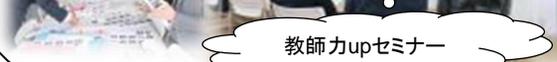


「教師力upの素」視聴体験



入賞論文発表

CEC・カフェ



教師力upセミナー



田村 学先生の講演